



ながい あきひろ  
永井 紹裕

職名 専任講師

担当科目 法学入門、憲法、民法入門、労働法  
卒業研究、ゼミナールⅠ

研究テーマ	1. 刑法における正当化事由について 2. 正当化事由の制限について
-------	---------------------------------------

研究業績

著書	2015年 7月 『判例特別刑法 第2集』(共著、日本評論社) 2018年11月 『判例特別刑法 第3集』(共著、日本評論社) 2022年 7月 『判例特別刑法 第4集』(共著、日本評論社) 2022年11月 『続刑法の判例 総論』(共著、成文堂) 2022年12月 『AIロボットと刑法』(共著、成文堂)
論文	2013年 3月 「緊急避難における転嫁と第三者保護について」早稲田大学大学院法研論集147号 2014年 1月 「ヴォルフガング・フリッシュ『法の諸原理の表れとしての緊急避難の諸規制』」早稲田法学89巻2号 2014年 3月 「緊急避難の制約根拠について(1)」早稲田大学大学院法研論集149号 2014年12月 「緊急避難の制約根拠について(2)」早稲田大学大学院法研論集152号 2015年 3月 「過剰避難の減免根拠と要件について(1)」早稲田大学大学院法研論集153号 2015年 6月 「過剰避難の減免根拠と要件について(2・完)」早稲田大学大学院法研論集154号 2016年10月 「緊急避難における特別義務者について」早稲田大学法学会誌67巻1号 2016年12月 「緊急避難の制約根拠について(3・完)」早稲田大学大学院法研論集160号 2017年 9月 「文献紹介『ロボットと法』シリーズの論文紹介(3・完)補遺 今井・富川紹介論文についての若干のコメント」千葉大学法学論集32巻1・2号 2022年 3月 「緊急状況の自招と正当化の制限」立教法学105号
	2012年12月 「相場操縦等の加重類型の罪における必要的没収・追徴の範囲[東京地判平成22.4.28]」法律時報84巻13号 2015年 4月 「麻薬特例法における『営利の目的』と『業として』の意義 神戸地判平成26年2月21日(公刊物未搭載)」 2015年 7月 「覚せい剤使用罪につき、緊急避難の成立を認め無罪とした事案 東京高判平成24年12月18日(判時2212号123頁)」早稲田法学90巻2号 2017年 4月 「債権管理回収業に関する特別措置法2条2項後段にいう『債権を譲り受けた』ことになるとされた事例 東京高判平成27年11月5日(判時2284号136頁)」法律時報89巻4号 2018年10月 「ストーカー規制法2条1項の『目的』該当性および同項1号『見張り』該当性について福岡高判平成29年9月22日(LLI/DB L07220462)」法律時報90巻11号 2019年12月 「身柄拘束中の犯人との口裏合わせに基づいた参考人の虚偽供述と犯人隠避罪の成否[最高裁平成29.3.27決定]」早稲田法学95巻1号
社会的活動	2022年 4月～ 2022年 7月～ 那須塩原市行政不服審査会委員 那須塩原市情報公開・個人情報保護審査会委員
略歴	2007年 3月 立教大学法学部法学科卒業 2011年 3月 立教大学大学院法学研究科博士前期課程修了 修士(法学)立教大学 2018年 3月 早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学 2018年 7月 博士(法学)早稲田大学  2011年 4月 明治学院大学法学部副助手(～2015年3月) 2017年 4月 東京福祉大学非常勤講師(民法・行政法担当)(～2017年3月)(憲法、法学概論担当) 2018年 4月 東亜大学通信制大学院総合学術研究科法学専攻非常勤講師(刑事法専攻補佐担当) 2020年 4月 立教大学法学部助教(～2022年3月) 2022年 4月 宇都宮共和大学シティライフ学部専任講師(現職)

所属学会 日本刑法学会、日本法政学会

自己アピール 刑法を専門にしていますが、隣接する学問についても興味をもって勉強しています。いろいろな学問で問題となっている事例など、学生の皆さんのが興味を持ってくれるような題材から法学の面白さを伝えられるようにしたいと思っています。授業等でわからないことがあれば遠慮なく聞いてください。